

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679400095
法人名	有限会社 ひだまり
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県大島郡和泊町国頭2959-1番地 (電話) 0997-92-2398
自己評価作成日	平成28年2月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域で開催される各種行事へは積極的に参加しています。また、行事以外にも天気の良いと手作りの弁当を持って出かけたり、食材を持って現地で作ったりして楽しいんでいます。ケアの面では利用者が落ち着いて過ごせるような声かけやケアを常にこころがけ、ホームは穏やかな明るい雰囲気になっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは地域の長寿クラブや色々の地域行事に参加して楽しんでもらう支援を行っている。
- ・管理者は職員からのアイデアを取り入れ、トイレや浴室への案内板や利用者がベットから安全に移動できるよう配慮している。
- ・事業所で看取りケアの事例があり、ホームでの終末期を希望する利用者や家族に寄り添いたいとの意識向上に繋がっている。
- ・排泄の自立支援に向けてトイレやポータブルトイレへ日中・夜間とも声かけ誘導を行っており、開設以来オムツ使用の利用者はいない。
- ・新規職員に対して、夜勤などは1ヶ月間は職員と一緒に付き添うシステムになっており、夜勤時の不安を和らげている。
- ・管理者は地域で認知症に関する研修の講師を引き受けており、地域に貢献している。
- ・事業所は職員の処遇に関して、職員が各種の研修会や勉強会への参加で働く意欲や質の確保に繋がられるよう配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念に基づいたケアを心がけています。	職員は理念に掲げてある自立支援の介護を常に心肝に染め、本人の力量を活かしながらケアを行っている。理念は事業所玄関の正面に掲げて、職員は理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の学校の各種行事や長寿クラブの定例会、各種行事などに積極的に参加し、地域運営にも関わるように努力しています。	地域の長寿クラブに加入し町主催のジョギング大会の応援等に出かけている。小中学校の職場体験学習を受け入れている。地域住民からの野菜の差し入れや近隣の小中学校の運動会や保育所のお遊戯会に招待され、楽しんでいる。管理者は研修会の講師をする等、日頃から地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	研修会等の講師として呼ばれる機会が多く、経験からの認知症に対する知識と、正しいケアを広めるために生かしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の日常や行事参加の様子をスライドで紹介し、その感想やアドバイスを日々のケアに活かしています。</p>	<p>会議で利用者の日頃の状況などをスライドを通して報告したり、外部評価の結果も報告している。参加者から言葉の使い方や言葉の気づきなどの意見が出され、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>常に連携は取れており事業所の取り組みも理解されていると思います</p>	<p>町担当者とは更新や申請時に事業所の園だよりを持参したり、事業所の状況を報告している。職員が事業所に立ち寄る事もあり、運営推進会議への参加を通して事業所の考え方や現場の状況などを知ってもらい、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を開催しています。玄関の鍵は防犯のために夜間のみ施錠しています</p>	<p>毎年1回テキストをもとにDVDを基本に勉強会を行っている。車椅子からの転倒予防などヒヤリハットを通し勉強するなど、事故防止に努めている。日中玄関の施錠はせずに、外出する利用者には、職員の連携で自由に外出を楽しめるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	常に意識して防止に努めています		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	勉強会も開催していますが、現在利用している方はいません		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	面会時の説明と文書で解りやすい説明を心がけています。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族の面会時のコミュニケーションや運営推進会議への参加、苦情受付窓口やご意見箱を設置しています	苦情相談窓口や意見箱を設置している。家族とのコミュニケーションが取れており、面会時にケアの要望などがあり即対応している。運営推進会議に参加して要望や情報を聞き運営に反映させている。利用者の耳垢が溜まった時等のケアに関する事や利用者の好みの物等を要望を聞き職員で話し合い応えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会等での意見を検討し反映するように心がけています</p>	<p>職員からケアに対する意見がよく出されている。福祉用具の工夫を行い自立に向けた用具の作り替えなど工夫している。起立が困難な利用者の事で話し合い、ベットを変更する事で利用者が安全な立位が行えるようになった。休憩時間の交代で休憩が取れるようになる等、職員の意見や提案を運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格や勤務実績等を考慮した給与体系を公表し努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>島内での研修会や講演会には必ず参加するようにしており、ホーム内ではOJTを活用しています</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>島内のグループホームや他の介護施設とも交流できるように取り組んでいます</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	安心して過ごしていけるように努めています		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族から聞く機会を多くとるように努めています		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	家族の意見や利用者の状態の把握に努め必要な支援を提供できるようにしています。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	築くことを目標に常にケアを展開しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	築くことを目標に常にケアを展開しています		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	馴染みの理容室や通いなれた教会へは毎週送迎し、支援に努めています。	馴染みの教会への送迎や長寿クラブの定例会の参加で馴染みの友に会える楽しみの支援をしている。友達が利用者に会いに来たり、島外居住の家族とのインターネットのカメラで対話を行っている。家族の帰省で外泊できるようにして、関係が途切れないよう支援している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	常に目を配り心がけて支援しています		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	時節の挨拶や行事への呼びかけ等関係が続いています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の主体性を大切にしながら可能な限り努めています	利用者や家族から聞いた事や会話の中で気づいた事を日誌に記録し職員全員で把握している。睡眠中の利用者を無理に起こさないことや趣味のギター・ハーモニカ演奏・花の水かけ等、好きなことを取り入れている。意思疎通が困難な場合は家族や関係者から情報を得て本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族やケアマネージャー等からなるべく多くの情報を得るように努めています		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれにできることをしていただきながら過ごしていけるように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の面会時に実施するようにならざるべく本人にも参加してもらおうようにしています	介護計画は家族の面会時に本人も参加し希望や要望を聞いている。体操させて欲しいなど本人や家族からの要望や希望もプランに入れ込んで介護計画を作成している。モニタリングは1年に1回行っている。状態の変化時はその都度見直しを行い介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各種記録類を参考にして活用しています</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>可能な限り対応するように努めています</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>可能な限り支援するように努めています</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診時はホームで対応し、緊急時等は家族と連絡を取り一緒に受診に付き添い、安心を提供できるように島内の医療機関の協力のもとに支援しています。必要なときは往診もしてくれます。</p>	<p>本人や家族の希望のかかりつけ医で受診できる様に支援している。近くの協力医にも対応の依頼をしている。入院になる時は家族と一緒に付き添っている。訪問看護の対応や往診も依頼しており、結果はその都度報告し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週の定期訪問時以外にも連絡がとれる体制で支援しています		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	必要な情報交換を行い、関係づくりにも努めています		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	終末期に向けては主治医、家族との話し合いをふまえ共通の意識のもとに取り組んでいます。	重度化した場合や終末期のあり方について、入居時の早い段階で話し合っている。終末期に向けて家族と主治医との話し合いで、本人や家族の要望があれば医療との連携を図り終末期ケアの受入れを行っている。医療処置を要する利用者には医療機関で対応してもらっている。看取りケアの事例が数例ある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的な訓練を実施し、できていると思います		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は地域に呼びかけて協力のもとに実施しています</p>	<p>火災避難訓練を年2回実施し消防署の指導の下地域住民の参加を得たり、また職員のための訓練を実施している。訓練後はバーベキューをしながら反省会及び意見交換をしている。3年に1回は夜間想定も実施している。災害時の飲料水や食糧品、尿取りパットやリハビリパンツ、台風時の家庭用自家発電も用意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけや誘導の方法に工夫し、常に配慮したケアを心がけるようにしています</p>	<p>職員会の折に勉強会を行っている。トイレ誘導時の声かけなど常に配慮したケアを心がけている。言葉かけなどで気づいた時はその場で管理者や職員同士で注意している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>常に利用者主体の声かけをこころがけて取り組んでいます。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その人らしい日常生活を基本に支援しています</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人の主体性を大切にしながら支援しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の献立、準備から配膳、片づけまで一緒にするように心がけています。</p>	<p>食材を見せて調理方法を利用者に聞いたり、味見や配膳・食材を切ったりするなど調理を楽しんでいる。職員と一緒に食材の買物に出かける支援もしている。弁当を持って花見に出かけたり、食材を用意して近くの公園で焼きそばや焼うどんを作って食べる支援なども行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立の工夫や少しでも水分を補給できるようにトロミや温冷、味を変えて取り組んでいます。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後実施されています</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握してそれぞれの身体機能に合わせた支援をしています。オムツの使用は開設して実績なし	排泄チェック表で利用者個々のパターンを把握し、食前や食後のトイレ誘導に加えて、日中は2～3時間おき、夜中も時間を見計らってトイレ誘導を行っている。夜間帯はポータブルトイレに誘導している利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝の牛乳やより多くの水分摂取、食事やおやつも繊維質を多くとってもらうように工夫して取り組んでいます。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日中であれば毎日でも入浴できます。最低でも2日に1回は入浴できるようにしています。	入浴は最低2日に1回の支援を行っているが、失禁の場合は毎日でも入浴をしている。ゆずを入れ、香りを楽しむ支援も行っている。入浴拒否の利用者には、時間を置いての声かけや言葉・職員を変えたりする等の工夫で入浴支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	居室空間や寝具、ベッド等の工 夫や加湿器、湯たんぽ等を使用 して支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	病院や薬局と連携をとり努めて います		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 暦や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	それぞれにできる事や特技を日 々の活動や生活の中で活かせる ように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	地域の学校の各種行事や長寿ク ラブの定例会、各種行事などに 積極的に参加し、外出の機会を 設けています。	日常的に天気の良い日は近隣を 散歩したり、園庭の花や野菜に 水かけや手入れをしながら戸外 の空気や日光浴を楽しんでい る。グループホーム事業所のア イディア発表大会に出かけてい る。冠婚葬祭や利用者が亡く なった時なども職員・利用者が 一緒に葬儀に参加している。月1 回程度は各行事の参加など積極 的に外出の機会を設け外出支援 を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	支援しています		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	手紙や荷物が届いたら必ず電話をかけて話せる機会を多くもてるように支援しています。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節の花を飾ったりして取り組んでいます	ホールは、天井が高く陽当たりがよく明るい。温・湿度計があり部屋の換気など環境に配慮している。壁には全員で外出した時の利用者の笑顔いっぱいの写真や作品などが飾られている。テーブルを囲みテレビ鑑賞や歌を口ずさむなど個々に楽しんでいる。ホール前の園庭には季節が感じられるよう色とりどりの季節の花や野菜が植えられており、利用者が気持ちよく過ごせるよう工夫されている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	食堂の畳スペースで過ごしたり、互いの居室の交流もあります		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の状況に合わせてベッドや家具を自立を考慮して配置し、快適に過ごせるように工夫しています。</p>	<p>居室は利用者それぞれの状況に合わせたベッドや畳で使用する寝具類が用意され、本人が使い慣れた家具なども持ち込んでいる。壁には家族・孫の写真や感謝状などが飾られており、自宅と変わらない家庭的な温かさが感じられ利用者が安心して居心地良く過ごせる様工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>職員のアイデアを取り入れ案内板や危険防止を図る工夫をしています。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない